

# 今後の高等教育の将来像の提示に向けた論点整理【概要】

資料5-1

中央教育審議会大学分科会  
大学院部会(第83回)  
H30.3.13

## 社会全体の構造の変化

- ・学術研究や教育の発展 → 学際的・学融合的な研究、文理融合的な教育
- ・第4次産業革命 Society5.0 → 「AI × ○○」分野を超えた専門知・技能の組み合わせ
- ・人生100年時代 → 多様な年齢層の学生
- ・グローバル化 → 多様な国籍の教員、学生
- ・地方創生 → 地方の産業の生産性向上、高付加価値化

## 高等教育における人材育成

### ■18歳で入学する伝統的な学生

- ・急速な社会の変化の中で陳腐化しない**普遍的なスキル、リテラシー**
  - 一般教育・共通教育と専門教育を通じた**汎用的能力の育成**
  - **強みとなる専門分野と幅広い視野を兼ね備えた人材の育成**
- ・第4次産業革命時代の**新たなリテラシー**
  - **数理・データサイエンス**

### ■社会人

- ・学術的な背景を持つ教員による**最先端の実践の理論化**
- ・実務経験のある教員による**最先端の実践例の提供**

※Society5.0に向けた人材育成の在り方については引き続き議論

## 高等教育機関の教育研究体制

- ・将来の人材需要は次々と変わり得る
- ・上記の社会の変化に共通するキーワードは「**多様性**」

- **予測困難な中で、変化に迅速かつ柔軟に対応できる教育研究システムの構築へ**
- **多様な価値観が集まるキャンパスから新たな価値が生まれる**
- **自前主義から脱却し、学部を超え、大学を超えて多様な人的資源を活用**
- **それを少子高齢化の中で実現**

### ■多様な教育研究分野

迅速かつ柔軟なプログラム編成  
多様性 × 少子化 = 連携・統合

- ・**学位プログラム**(学部等の枠を超えたプログラムの構築)
  - ※学生の視点から履修の幅を広げるような取組も重要
- ・**大学間の連携・統合** ※円滑な撤退の手続き

### ■多様な教員

多様性 = 学外資源の活用 (脱自前主義)

- ・**学位プログラム**(再掲)
- ・**実務家、若手・女性**

### ■多様な学生

多様性 × 高齢化 → 多様な年齢層の学びの場に

- ・社会人 → **リカレント教育**
- ・外国人 → **留学生**

### ■多様性を受け止めるガバナンス

多様性 = 学外資源の活用

- ・**他大学、産業界、地方公共団体との恒常的な連携体制の構築**
- ・**学外理事等**

## 18歳人口の減少を踏まえた大学の規模や地域配置

※短大、高専、専門学校、大学院について、特有の検討課題、高等教育機関全体の相互の接続関係の在り方、学位・称号の国際的通用性の確保等について引き続き検討

### ■大学の規模

- ・本格的な人口減少 18歳人口 119万人(2016)→103万人(2030)→**88万人(2040)**
- ・**2033年の進学者数の推計**は、47都道府県平均で、**現在の定員の約85%**
- ・リカレント教育による多様な年齢層の学生の増加に留意

### ■地域で描く将来像

- ・全都道府県の大学の配置状況に関する**客観的なデータの作成**(将来の入学者減の推計を含む。)
- ・地域の国公立大学が、**地方自治体、産業界を巻き込んで、将来像の議論や連携、交流の企画を行う恒常的な体制を構築**

## 教育の質の保証と情報公開

- ・教育課程、指導方法の改善 → **シラバス、GPA、実務家教員の活用、教員の教育能力**
- ・学修成果の可視化と情報公開 → **学修時間、GPA、退学率、就職率、資格取得、アセスメントテスト、ルーブリック、ポートフォリオ、学生の成長実感、満足度調査、卒業生への評価の把握** 他
- ・認証評価 → **内部質保証の重視と負担軽減**

※「大学院教育の在り方や大学等における研究の関係」、「高等教育機関の機能別分化」、「高等教育を支える支援方策の在り方」等については、今後検討